



《移動図書館巡回日》



場所	日にち	時間
島コミュニティセンター	11月5日(水)	10:30~11:00
老蘇コミュニティセンター		11:30~12:00
フレンドマート安土店		13:30~14:00
サン・ビレッジ近江八幡		14:30~15:00
フレンドマート八幡鷹飼店		15:30~16:00
武佐コミュニティセンター	11月6日(木)	9:30~10:00
馬淵コミュニティセンター		10:30~11:00
北里コミュニティセンター		11:40~12:10
金田コミュニティセンター		9:30~10:00
桐原コミュニティセンター	11月7日(金)	10:30~11:00
岡山コミュニティセンター		11:30~12:00

〔近江八幡図書館〕

〈電話〉 0748-32-4090 〈FAX〉 0748-32-4099

開館時間：午前10時～午後6時

〔安土図書館〕

〈電話〉 0748-46-6479 〈FAX〉 0748-46-6591

開館時間：午前10時～午後6時

ホームページも
ご利用ください！



近江八幡市立図書館だより としょかん 163号 【令和7年11月】 11 November 2025

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
						1
2	3 八幡休館	4 両館休館	5 安土休館	6	7	8
9	10 八幡休館	11 両館休館	12 安土休館	13	14	15
16	17 八幡休館	18 両館休館	19 安土休館	20	21	22
23	24 八幡休館	25 両館休館	26 安土休館	27	28	29
30	□…近江八幡館休館 ○…安土館休館 ■…両館休館					

今月の展示

【つくる一作・創・造一】

私達の身の回りは「つくる」によってできています。そして、手芸などの手仕事から、頭の中で作り出すアイデアや巨大な建造物まで、多種多様の「つくる」があります。今月はそんな「つくる」にまつわる本を特集しています。

【人生を変える(かもしれない) 1冊】

新しい知識が得られたり、深い感銘を受けたり。本は、あなたの人生をちょっぴり(ときには大きく)変えてしまうかもしれません。利用者の皆さまから紹介していただいた本も置いています。

図書館の本棚より

『白紙を歩く』 鯨井 あめ/著（幻冬舎）



陸上部のエース風香は足に怪我をしたため、走ることができなくなってしまいました。このことがきっかけで、自分には走る理由がないことに気づきます。そんなときに、図書室で類という小説家志望の少女に出会いました。類は「物語は人を救う」と信じて小説を書き続けていました。小説のネタに困っていた類は、風香をモデルに小説を書きたいと提案し、風香も受け入れ、二人は期間限定の友達となります。性格が正反対の二人ですが、相手に興味を抱くにつれて、それぞれが打ち込んできた陸上や小説に、真剣に向き合うようになります。

物語は二人の視点で交互に語られています。人生の分岐点で悩む二人に、読み手も思わず自分の生き方について考えさせられます。（平井）

『装いの翼 おしゃれと表現と』 行司 千絵/著（岩波書店）



著者は新聞記者の仕事の傍ら、母親や知人たちに、その人らしさが感じられる服を作り続けてきました。

そんな著者が、戦後に活躍した3人の女性、絵本画家いわさきちひろ、詩人茨木のり子、美術作家岡本淑子の装いとその生き方を紐解いたのが本書です。3人に共通したのは、日々の装いは決して華美ではないが、自分が美しいと思ったものを、身につけたという点でした。3人とも洋裁の学校にまで通い、既製服をほどいて型紙を引き直し、自分のサイズに仕立て上げ、自分が好きなスタイル、生地 of 服を求めて大切に身につけました。

著者は遺族への取材や残された日記などから、丹念に彼女らの人生と装いを明らかにしていきます。自分の作風と生き方を貫き通した3人の表現者の人生が、おしゃれという切り口から伝わってきます。（世古）



新しく入った本



タイトル	著者	出版社
世界のほうがおもしろすぎた	松岡 正剛	晶文社
最後の山	石川 直樹	新潮社
#クイズ空から見たら	ゼンリン	KADOKAWA
マンガで解決老人ホームは親不孝？	上大岡 トメ	主婦の友社
文化が違えば、心も違う？	北山 忍	岩波書店
疲労学	片野 秀樹	東洋経済新報社
『世界名作劇場』の家と間取り	ちば かおり	エクスナレッジ
会話の0.2秒を言語学する	水野 太貴	新潮社
どら蔵	朝井 まかて	講談社
いまだ悪戦苦闘中	垣谷 美雨	双葉社
神さまショッピング	角田 光代	新潮社
蜻蛉の夏	垣根 涼介	小学館
職分	今野 敏	双葉社
エピクロスの処方箋	夏川 草介	水鈴社
スピーチ	まさき としか	幻冬舎
涙の箱	ハン ガン	評論社

新しく入った本の中から、一部を紹介します。

貸出中の本は、予約していただけます。図書館のカウンター、館内検索機、電話、FAX、ホームページでお申込みください。